

<「知るっば！久留米」 令和4年3月24日(木) 12:30~放送分>

鳥類センターの魅力 ～第4回～ 「希少動物のひみつ」

<ゲスト：久留米市鳥類センター 高山しのぶさん>

坂本 MC (以下「坂本」)

「知るっば久留米」ナビゲーターの坂本豊信です。

今月は、久留米市の人気スポット『鳥類センターの魅力』をテーマにお送りしています。

ゲストはこの方です。

ゲスト:高山さん(以下「高山」)

こんにちは!久留米市鳥類センターの高山しのぶです。よろしくお願いします。

坂本 4回目の今日は、『希少動物のひみつ』というテーマでお送りしていきます。

鳥類センターは、私たちの身近にあって、とても大事な役割を果たしているんですね?

高山 そうなんです。鳥類センターを含む、日本各地の動物園・水族館は動物たちを見せるだけでなく、「種の保存」、「社会教育・環境教育」、「調査・研修」、「レクリエーション」といった社会的役割を果たしています。

坂本 今日は、前回までとは打って変わって、なかなか学術的というか、難しいお話ですね。

高山 「種の保存」についてです。

日本では、絶滅の危機にある動植物、海洋種が合わせておよそ3700種にもものぼります。

その中で、自然の中ではだんだん数が減っていき、動物園、水族館で飼育している動植物の繁殖をすることで、種を繋ぐことができる種もたくさんあります。

坂本 単なる展示だけでなく、種を継続させることが大事なんですね。

高山 「社会教育・環境教育」は、動物たちの命や置かれている環境を通して、

子どもたちに命の大切さや環境を守っていくことの大切さなどを伝える役割を持っています。

「調査・研究」は、動物の飼育環境や治療法、繁殖に関することや、動物がもたらす効果などたくさんの調査・研究が世界中の動物園、水族館で日々行われています。

それを共有して、より良い社会を作ります。

坂本 子供から専門家まで、皆さんの学習や学術・研究の場でもあるわけですね。

高山 「レクリエーション」は、動物園、水族館を訪れる人たちへ楽しさと癒し、そして活力を与えます。日本動物園水族館協会では、「人々の身近な場所で“自然への扉”の役割を果たし、人々の活動や成長に必要な癒しや活力、学びを提供する活動をしていく」とうたっています。

坂本 同じ命をもらって生きる地球上の仲間同士、同じ時を過ごすのは素晴らしいですね。ところで、話を希少動物に戻しますが、鳥類センターでも種の保存を目的に、希少動物を飼育しているんですか？

高山 希少な種としては、オオバタン、ニジキジ、コサンケイ、シロフクロウやメンフクロウ、コンゴウインコ、ケープペンギンなどがあります。

坂本 知らない動物の名前もありました。たくさんの希少な動物が暮らしているんですね。次に行くときは、もっと隅々まで拝見してみます。

高山 ケープペンギンは毎年繁殖しているのですが、シロフクロウやメンフクロウなど、ペアになっても卵を産まない種がいます。他にも、オオバタンやコサンケイなど、ペアの相手がいない種がいたり、血統が近いことや飼育場所には限界があるという理由で、繁殖できないタンチョウといったいろいろなケースがあります。

坂本 そう簡単ではないんですね。

高山 ペアなのに卵を産まない原因を探ったり、飼育環境を改善したり、他園館と種の交換を進めて、独身の種にペアを組ませたりしています。血統交換を積極的に進めていくことで、種の保存に繋げていきたいと考えています。

坂本 私たちの知らないところで、大変なご苦労があるわけですね。独身の種にペアを組ませるとするのは、昔の親戚のおばさんみたいな気もするんですけども。(笑)本当に頭が下がります。

高山 動物を増やす方法として、他の園館や一般の方から譲り受けることもあります。先程も話に出ましたが、他園館との交換や「ブリーディングローン」といって、無償での貸し借りのことなのですが、そういったところで繁殖や購入することもあります。動物の購入はとても費用がかかるため、交換やブリーディングローンなどをする也多いです。最近、マクジャクやベニジュケイ、メンフクロウなどを他園館との間で交換しました。また、レアやニジキジはブリーディングローンで来園したんですよ。交換やブリーディングローンでは血統の更新もできるので、これからも積極的に進めていきたいですね。

坂本 今日是非常に大事な話をたくさん伺いました。

高山さん、自然を守り全ての生き物にとって住みやすい地球になるよう、
これからも頑張ってくださいと思います。

今日は、なんだかとてもスケールの大きい、地球規模の話になってしまいました。

高山さん、興味深いお話をありがとうございました。

次回は、いよいよシリーズ最後となります『鳥類センターの今と未来』をテーマにお送りします。
楽しみに！